

# 雄物川水系河川整備基本方針について

河川法第16条により、社会資本整備審議会の意見を聴き、  
平成20年1月28日に国土交通大臣が決定

# 雄物川流域の概要

秋田県の面積 約11,612km<sup>2</sup>

うち、**雄物川流域では 約4,710km<sup>2</sup>**  
(秋田県面積の約4割)

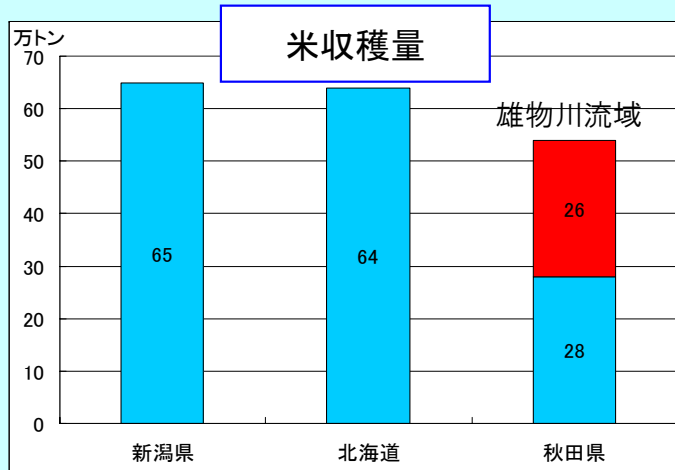
秋田県の人口 約115万人

うち、**雄物川流域では 約67万人**  
(秋田県人口の約6割)

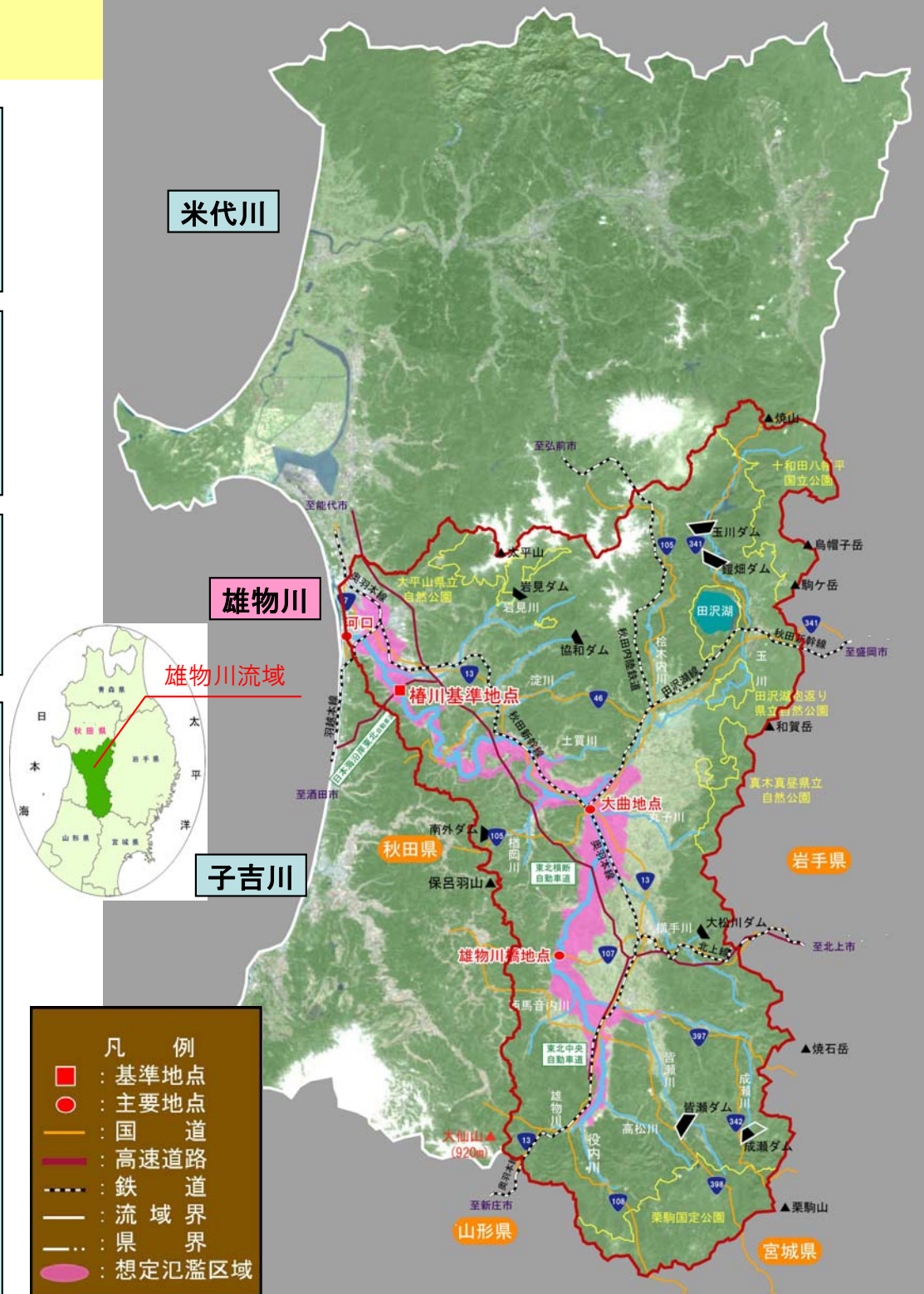
秋田新幹線、秋田横断自動車道、国道7号、国道13号等の主要幹線道路が雄物川沿いに整備

秋田県の米生産量は、全国第3位

うち、**雄物川流域でほぼ半分を占める**



農林水産省 (農林水産関係県別データ(18年度))



## 雄物川流域には、優れた景勝地や貴重な史跡・伝統行事が多数存在

### 水利用の歴史



●旧藤倉水源地堰堤  
(秋田市)  
秋田市内への水道・  
防火用水を供給する  
ための水道施設とし  
て明治44年に竣工。



●角間川河港跡  
(大仙市)  
雄物川は、古くから  
流域の穀物等や土崎  
港からの物資物流の  
重要な船運のルート  
であり、角間川は河  
港として最も繁栄さ  
れていた。

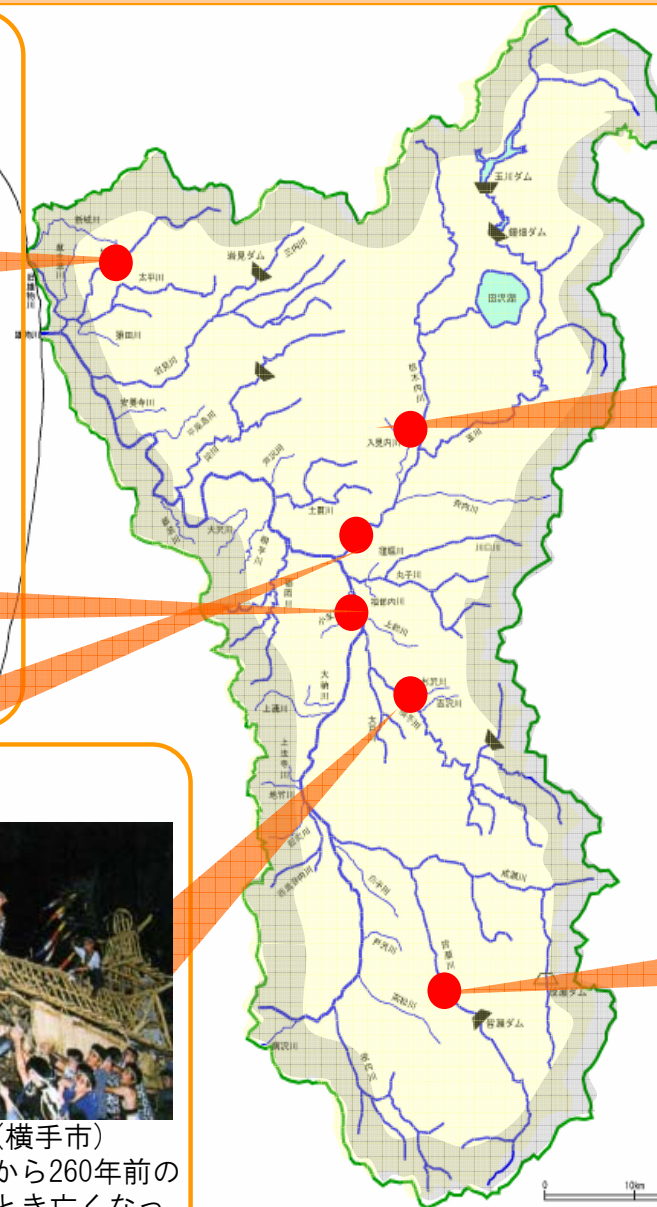
### 伝統行事



●伊豆山神社ぼんでん奉納  
(大仙市)  
地域内を練り歩いた後、奉納に行く  
途中雄物川を舟で渡って対岸にある  
伊豆山神社に五穀豊穰を祈願する祭  
り。約150年の歴史がある。



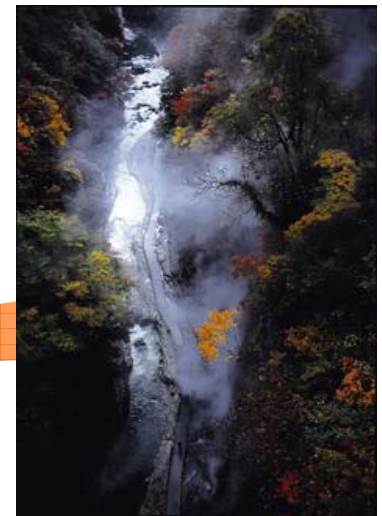
●横手の送り盆(横手市)  
送り盆祭り、今から260年前の  
享保の大飢饉のとき亡くなっ  
た人に対し、屋形舟を作り、  
柳を添え枝に法名を吊るし、  
河原に練り出して供養したの  
が始まり。



### 良好な河川景観



●桜木内川桜づつみ(仙北市)  
仙北市角館のソメイヨシノは昭和9年、平成天皇の  
生誕記念として植えられたのが始まり。全長2kmの  
堤に約1万本の桜が植えられ、昭和50年には国の名  
所指定を受ける。



●小安峡(湯沢市)  
栗駒国定公園に位置し、雄物川の支川である皆瀬川  
の上流にある小安峡は、高さ60mの深いV字渓谷が4  
kmも渡って続く。小安峡最大の見どころである大噴湯  
は絶景である。年間約30万人が観光客が訪れる。

日常的に多くの人に利用されており、さらに河川に親しみを持てるよう、さまざまな取り組みを推進

屋形船運航

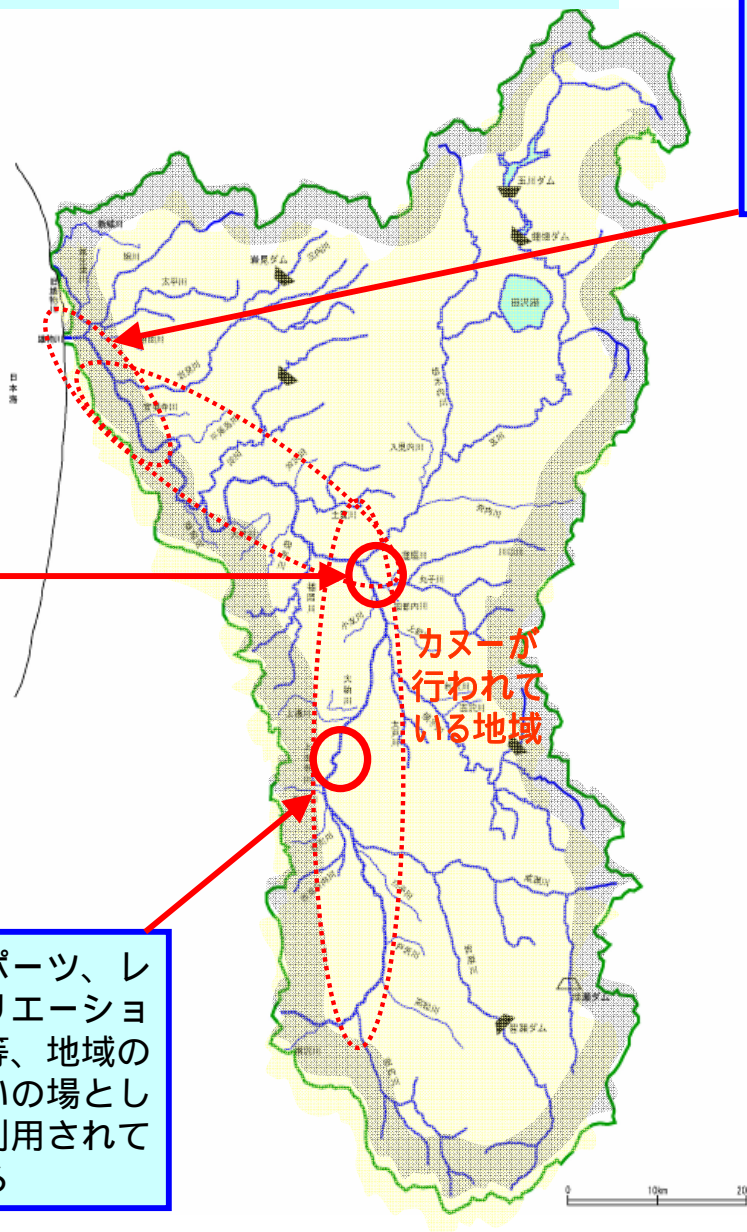


平成19年12月より、屋形船「秋田悠久ライン」の運航が開始

大曲全国花火競技大



明治43年以来続いている北日本では最大級の全国花火競技大会。これを目当てに全国から70万人の観客が河川敷に集う



カヌーが行われている地域

カヌー体験等を通じた活動が盛ん

カヌーによる清掃活動



カヌー体験



河川公園(横手市)



スポーツ、レクリエーション等、地域の憩いの場として利用されている

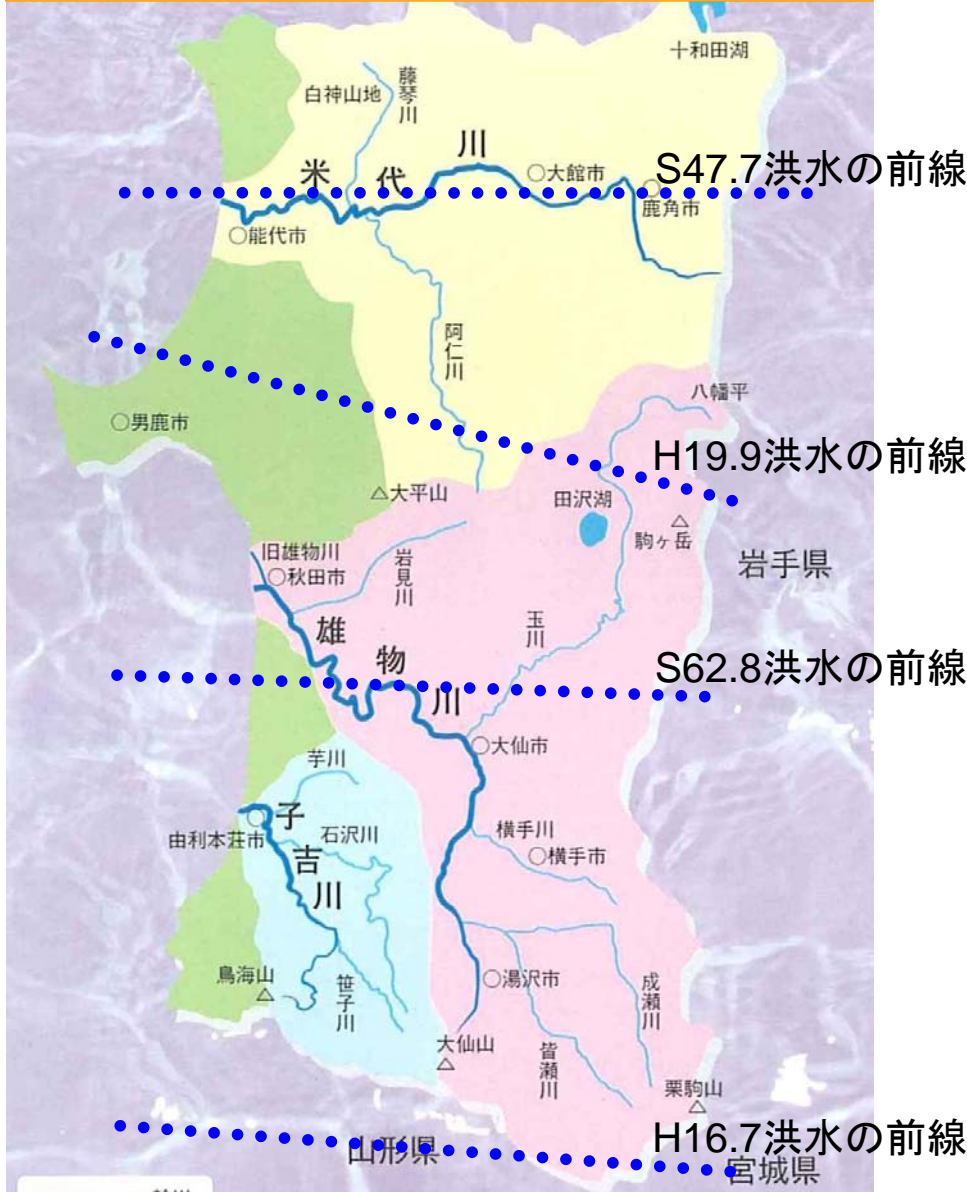
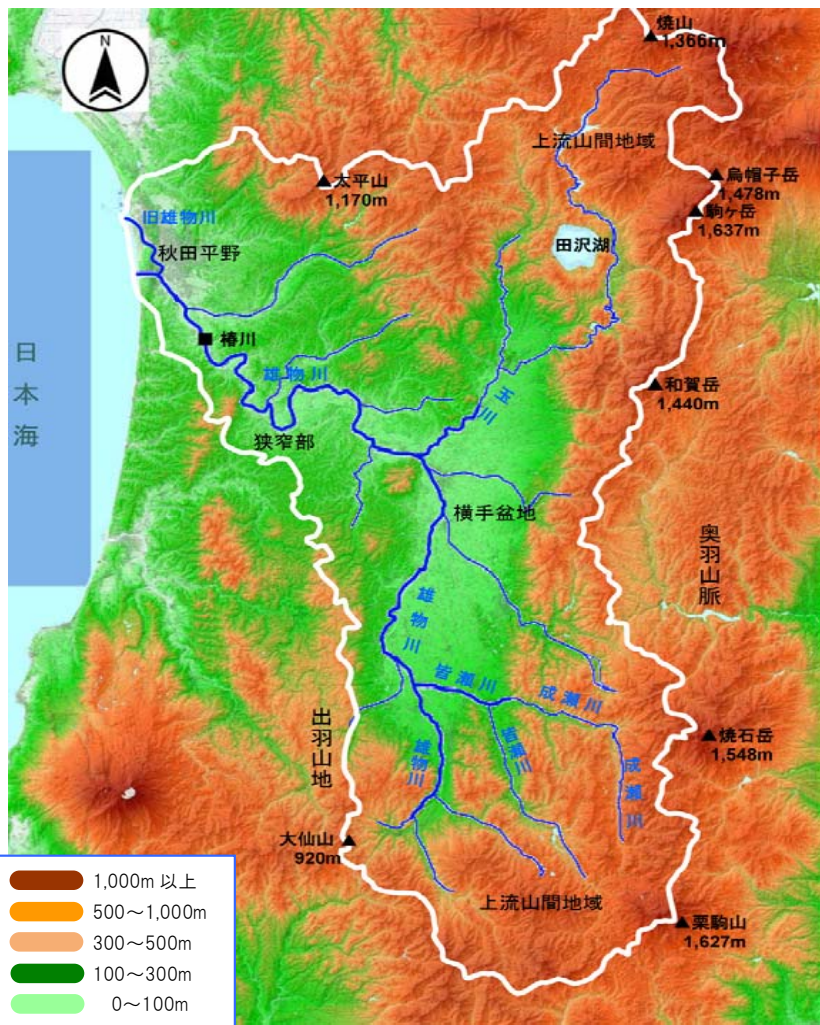
# 雄物川流域の地形

# 雄物川流域の降雨特性

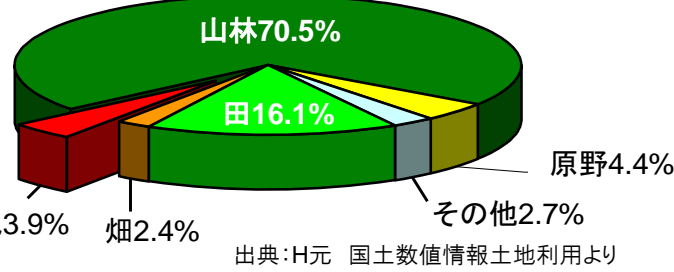
幹川流路延長133km(東北第6位、全国第30位)  
流域面積4,710km<sup>2</sup>(東北第4位、全国第13位)

降雨の要因としては、台風性が少なく、前線性のものが多い。流域内では標高が高い地域で降雨が多くなる。

前線の位置によって大雨の範囲が変わる。



## 雄物川流域の土地利用



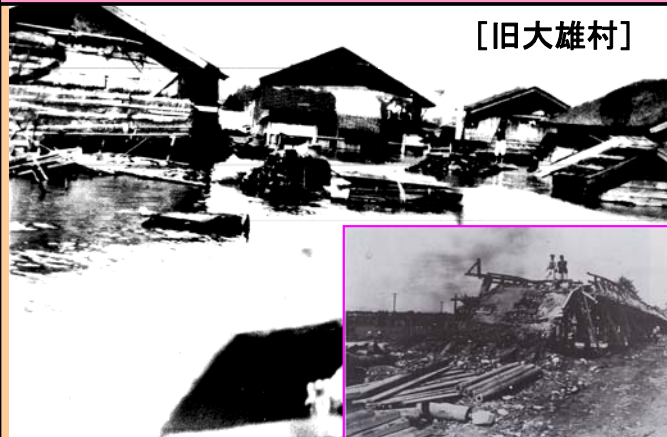
明治43年9月



雄物川**中下流域**を中心に大雨

全半壊79戸、浸水家屋10,768戸

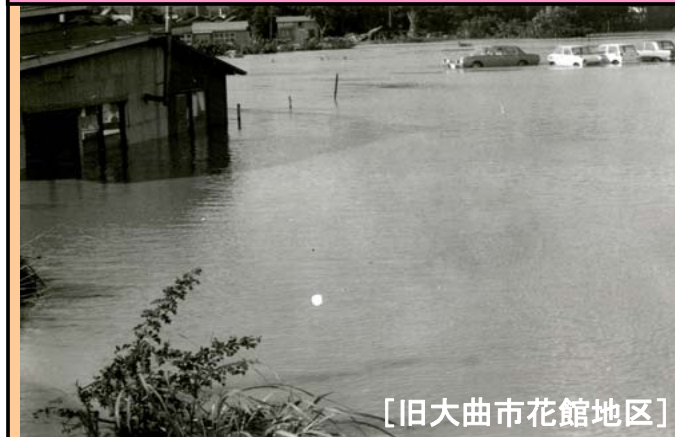
昭和22年7月



雄物川**全域**に大雨

全半壊308戸、浸水家屋25,361戸

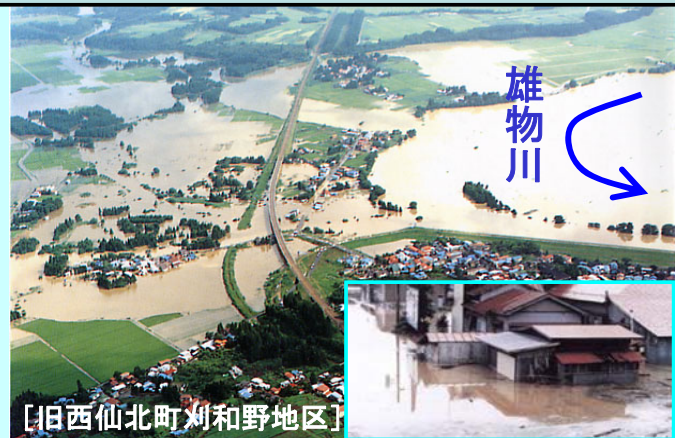
昭和47年7月



**玉川流域**を中心に大雨

全半壊4戸、浸水家屋4,904戸

昭和62年8月



雄物川**全域**に大雨

浸水家屋1,574戸

平成16年7月



雄物川**上流域**を中心に大雨

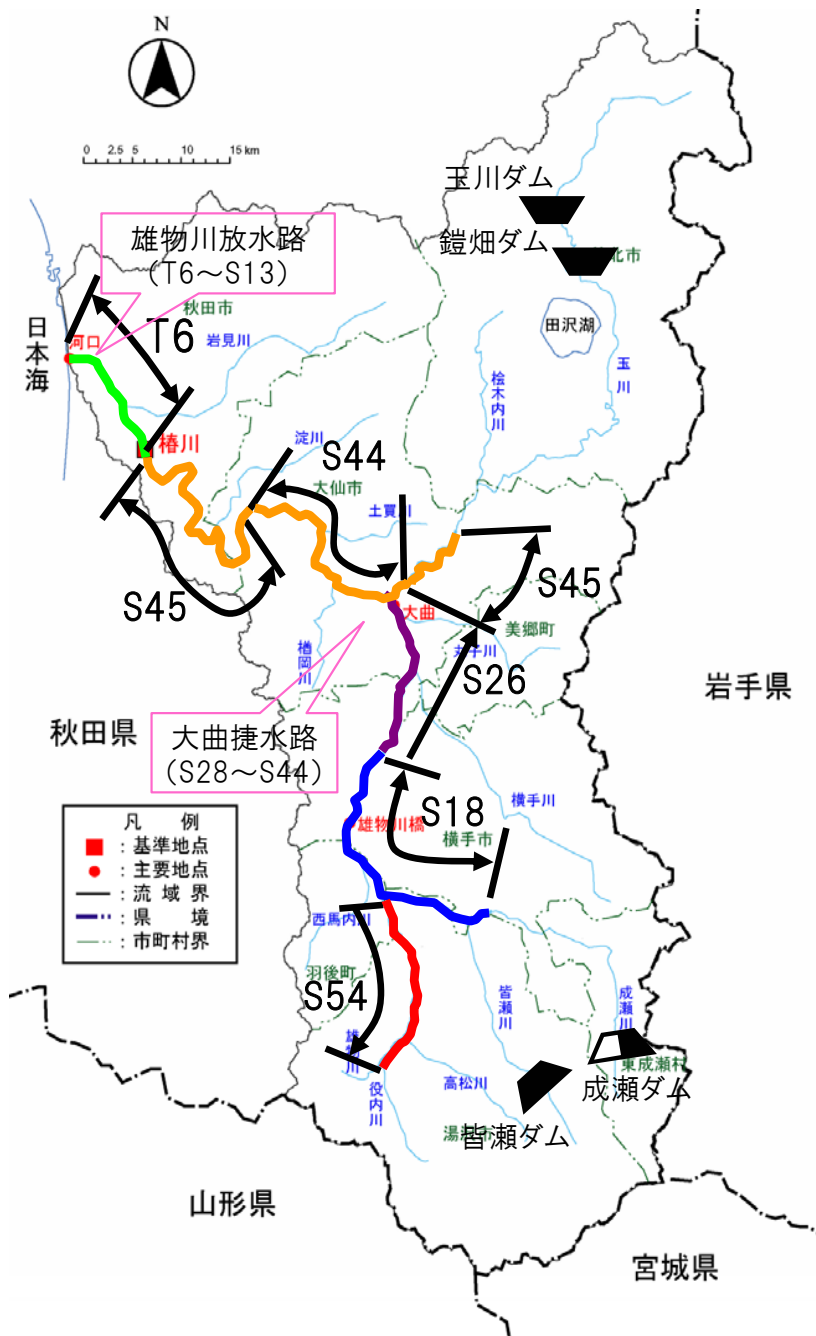
上流部においては計画高水位を超えた

平成19年9月



**玉川流域**を中心に大雨

浸水家屋281戸



- ・堤防整備・河道整正等により河道の疎通能力を向上
- ・ダム建設により河道の負担を軽減

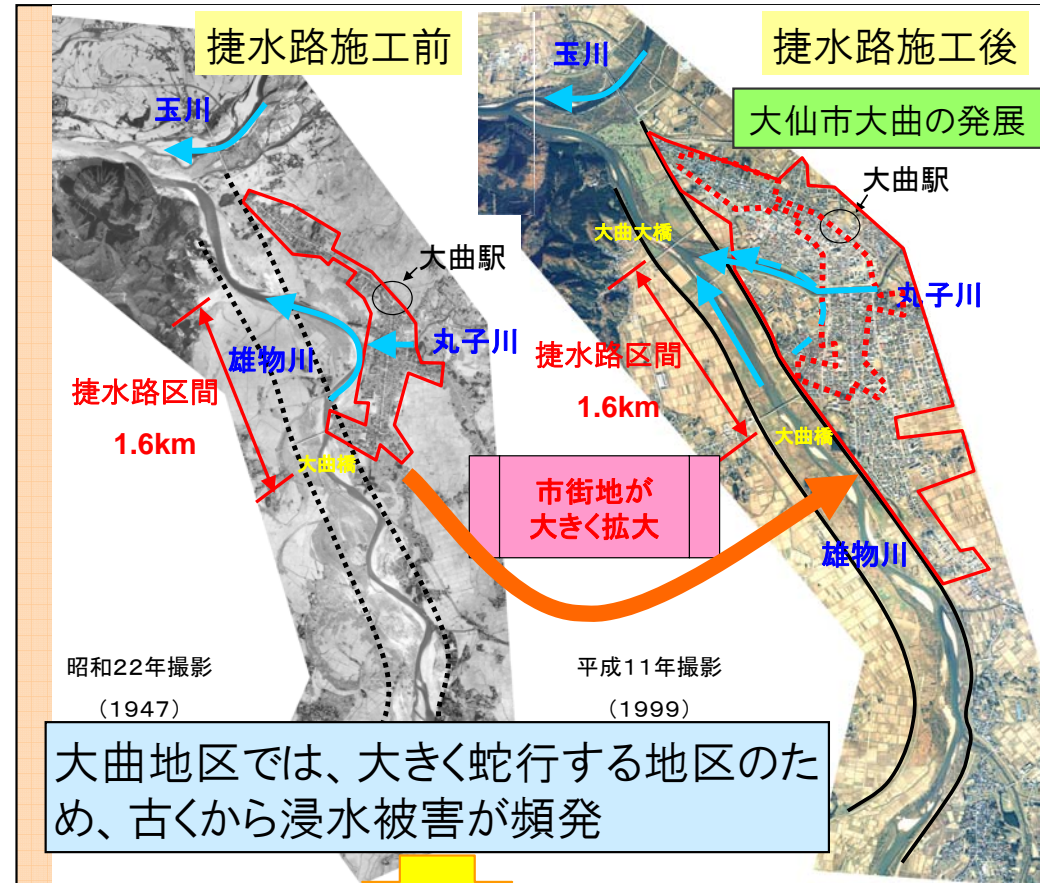
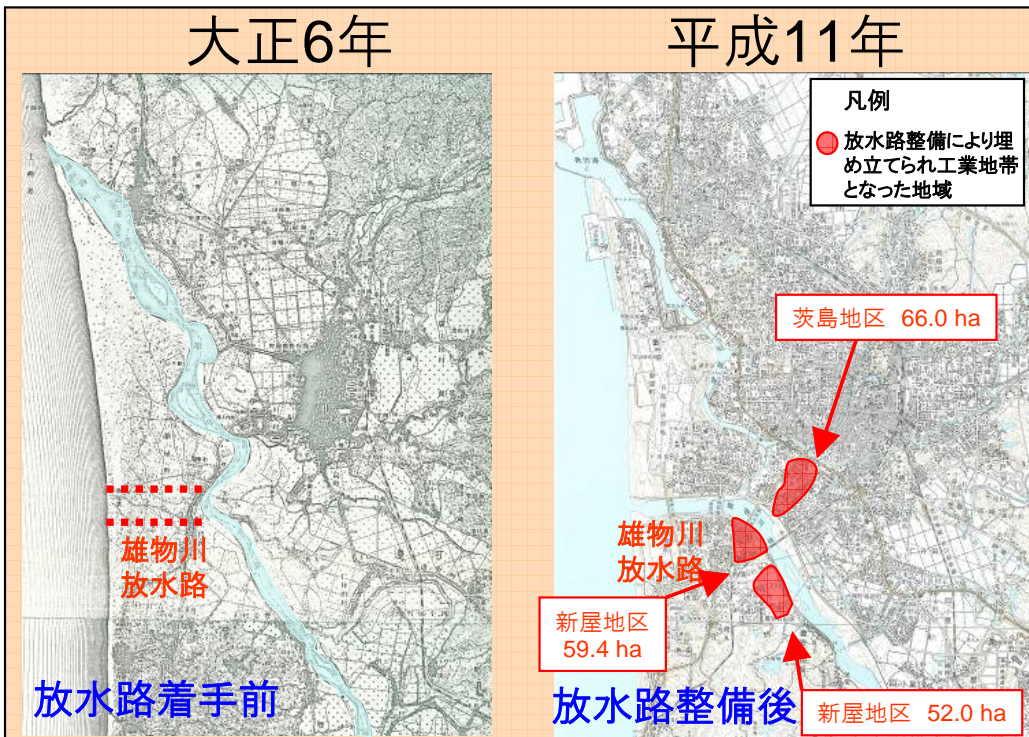
### 主な洪水と治水計画

M43.9	洪水
T 6	直轄編入(河口～椿川地点)
S13.4	雄物川放水路完成・通水
S18	直轄編入(玉川合流点上流20km～皆瀬川合流点、皆瀬川9km、成瀬川3km)
S22.7	洪水
S26	直轄編入(玉川合流点～上流20km)
S26.9	第1次流量改定(神宮寺上流)
S32.4	第2次流量改定(神宮寺上流)
	鑑畑ダム、皆瀬ダム計画決定による見直し
S32.10	鑑畑ダム竣工(S33.8管理業務が秋田県に移管)
S38.6	皆瀬ダム竣工(S38.11管理業務が秋田県に移管)
S41.6	工事実施基本計画策定
	河川法改正による見直し
S44.10	大曲捷水路完成・通水
S44	直轄編入(強首地区～玉川合流点、玉川1km)
S45	直轄編入(椿川地点～強首地区、玉川9.8km)
S47.7	洪水
S49.4	工事実施基本計画改定(全川計画)
	S47.7洪水等や流域内の開発状況を鑑み見直し
S54	直轄編入(皆瀬川合流点～上流18.5km)
S62.8	洪水
H 2.10	玉川ダム竣工
H 3.4～	成瀬ダム直轄移行(H9.4事業化)
H 6.6	工事実施基本計画改定(全川計画)
	ダム名等の記載にかかる部分改定
H19.9	洪水
H20.1	河川整備基本方針 策定



## 雄物川放水路事業

## 大曲捷水路事業



明治27年、43年洪水により大水害

昭和22年7月の洪水によって全市街地が浸水

■大正6年  
雄物川放水路事業に着手

■昭和13年  
雄物川放水路完成

■昭和28年  
大曲捷水路事業に着手

■昭和44年  
大曲捷水路完成

放水路の完成により、浸水被害が減少するとともに、掘削土を利用した造成により、臨海型の工業地帯となり、秋田市街地が大きく発展

大曲捷水路の完成により、浸水被害が減少し、大仙市街地の発展に大きく貢献



## 堤防整備

昭和62年8月洪水浸水状況

昭和62年8月洪水と比較した場合、**浸水面積が約半分に減少**

堤防の整備により、浸水被害を軽減。

H19.9.18日洪水 (9/18 11時頃)

## 構造物改築

**改築前**

流下の障害となっている構造物を改築

**改築後**

大久保堰改築：H18完成

## 輪中堤整備

S62.8洪水による浸水状況

治水効果の早期実現のため、輪中堤による地先防御を実施

雄物川

H19.9.18撮影

## 河川内樹木伐開

**伐開前**

流下の障害となっている河川内樹木を伐開

**伐開後**

# 雄物川の水利用の概要

雄物川の水利用は、古くから主として農業用水として利用されているほか、水道用水、発電用水、工業用水に広く利用されている。

**農業用水**は、流域全体で約40,700haの耕地に168.17m<sup>3</sup>/sの水が利用されている。

**水道用水**は、秋田市や大仙市など沿川市町村に2.87 m<sup>3</sup>/sが供給されている。

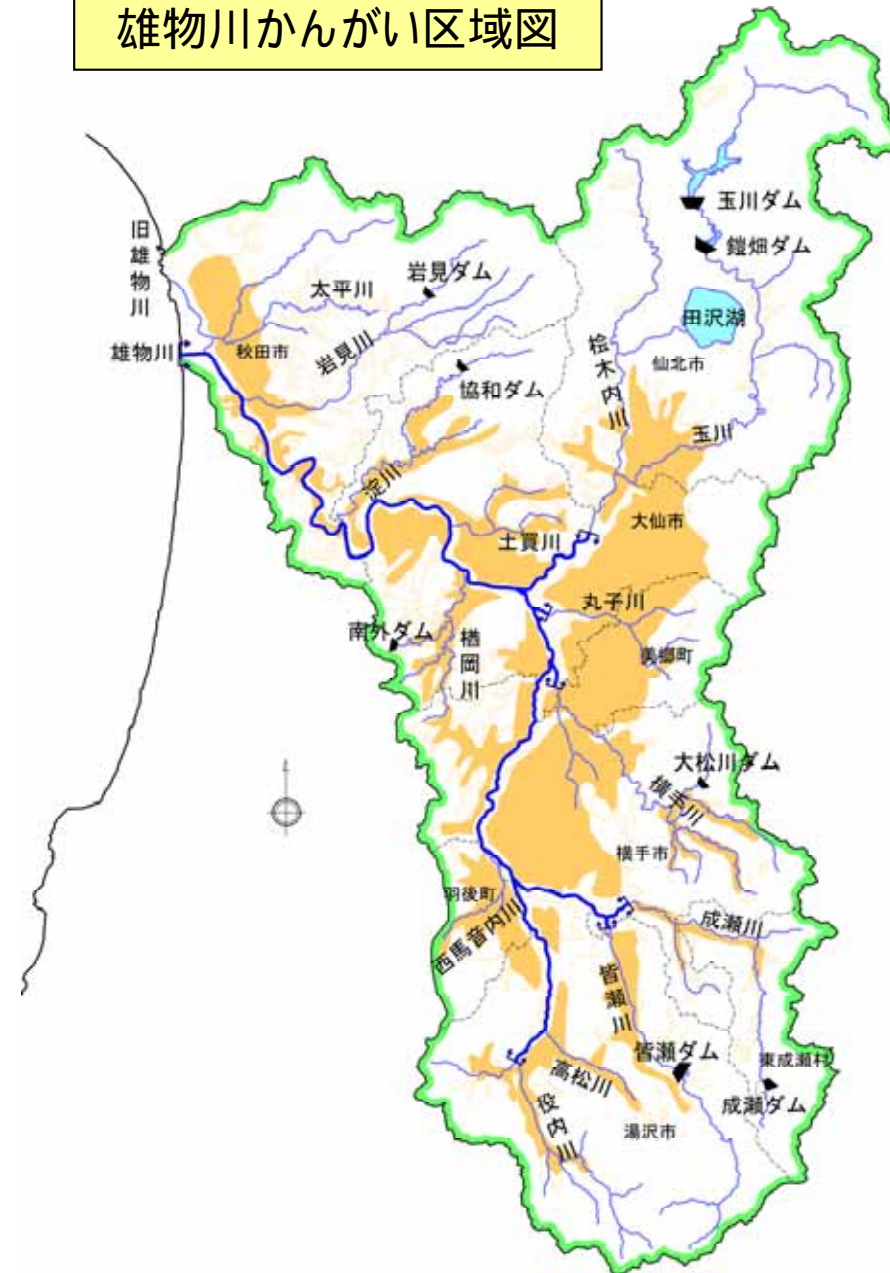
**発電用水**は、明治44年真人発電所（成瀬川）の建設が最初で、現在、17箇所の発電所により最大379.17 m<sup>3</sup>/sの水により、最大156,000kW発電が行われている。

## 渇水の状況



皆瀬川岩崎橋下流における渇水時の写真  
(平成6年8月2日)

## 雄物川かんがい区域図



：かんがい区域



環境省: 準絶滅危惧 (NT)  
秋田県: 留意種 (N)

シロウオは雄物川河口に生息している



アユやサケは上流部まで遡上している



環境省: 絶滅危惧 II 類 (VU)  
秋田県: 絶滅危惧種 II 類 (VU)

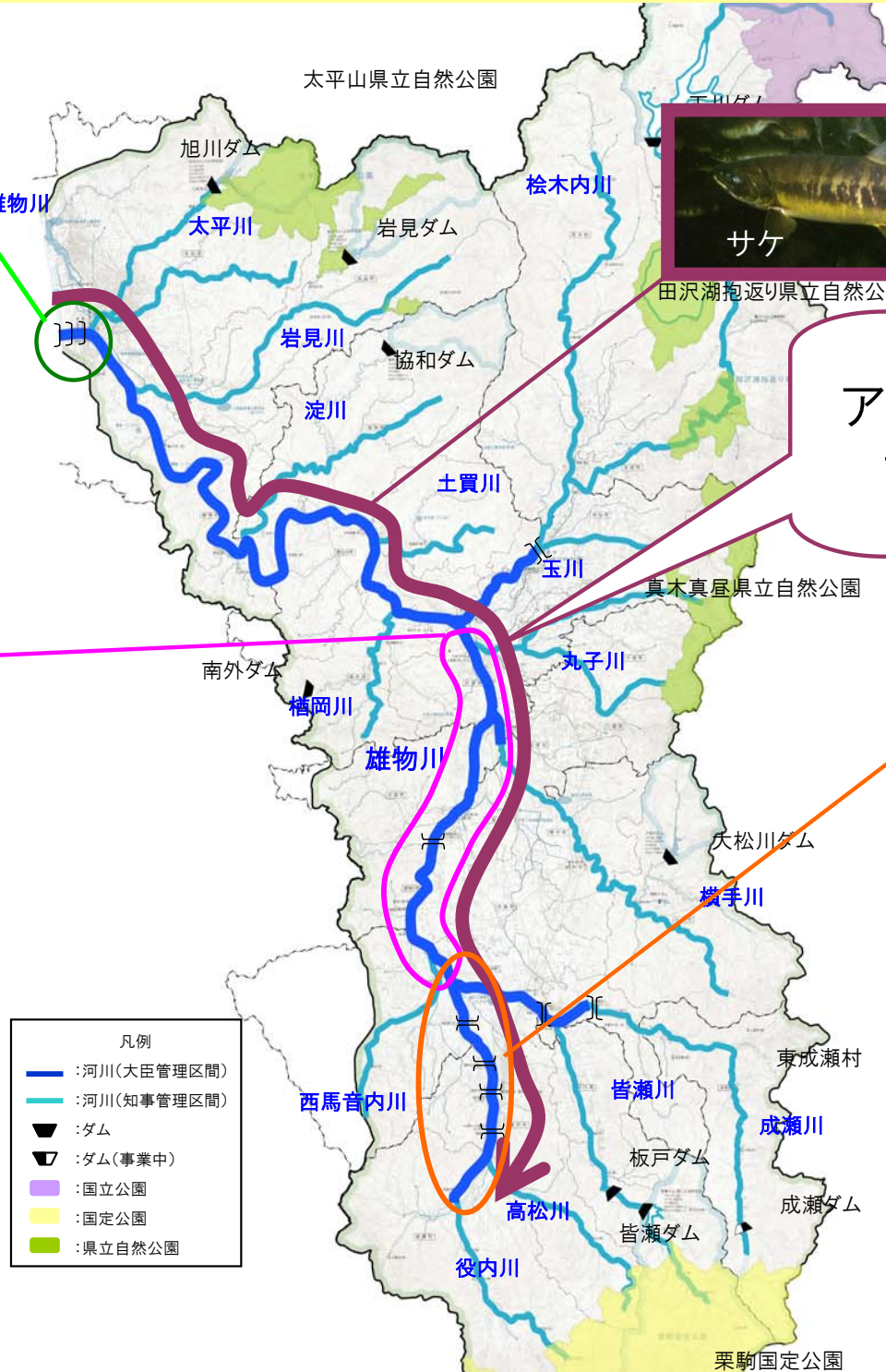
コアジサシは大仙市や横手市の雄物川の中州等で繁殖している



環境省: 絶滅危惧 I A 類 (CR)  
秋田県: 絶滅危惧種 I A 類 (CR)

イバトミヨ雄物型は本川上流部に生息している

- 凡例
- : 河川(大臣管理区間)
  - : 河川(知事管理区間)
  - ▲ : ダム
  - ▲ : ダム(事業中)
  - : 国立公園
  - : 国立公園
  - : 県立自然公園



雄物川の水質は、近年いずれの地点でも環境基準値を満足している。

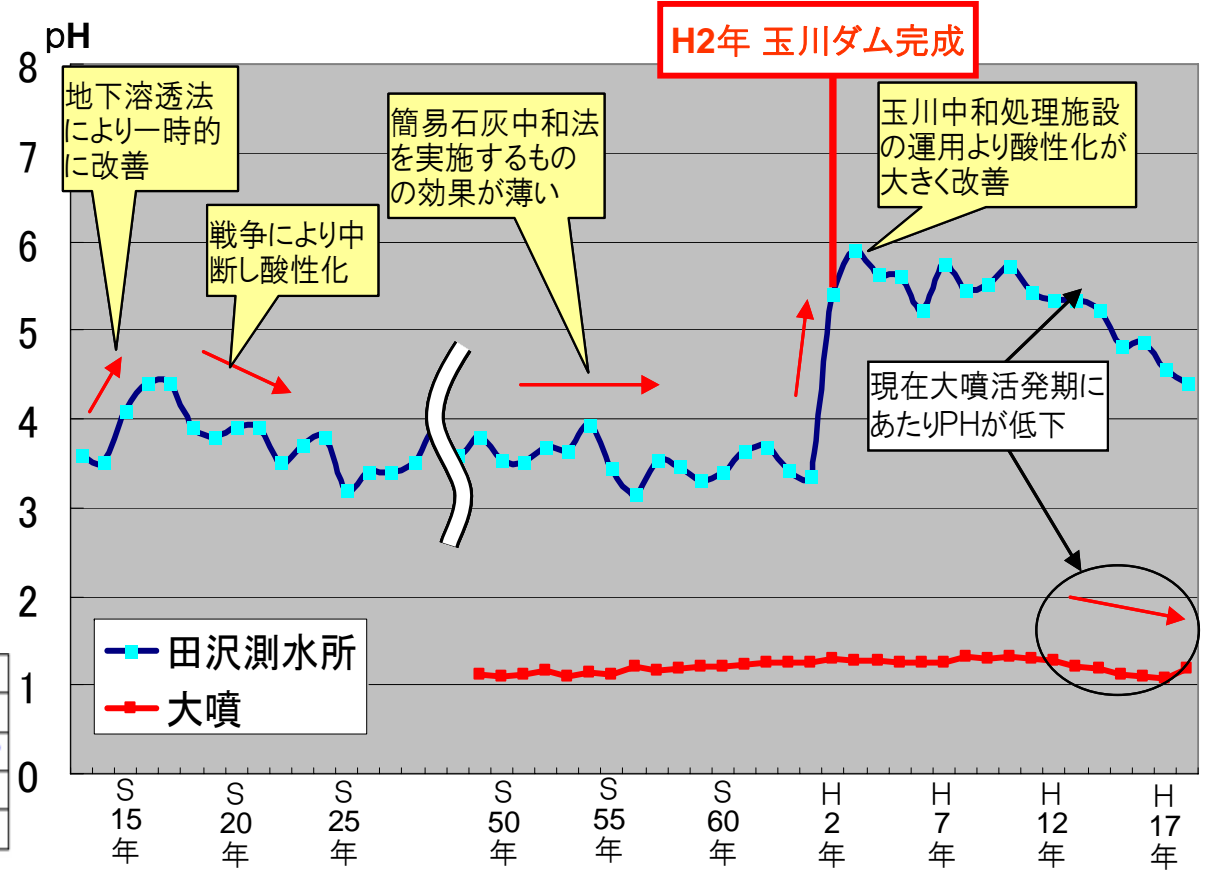
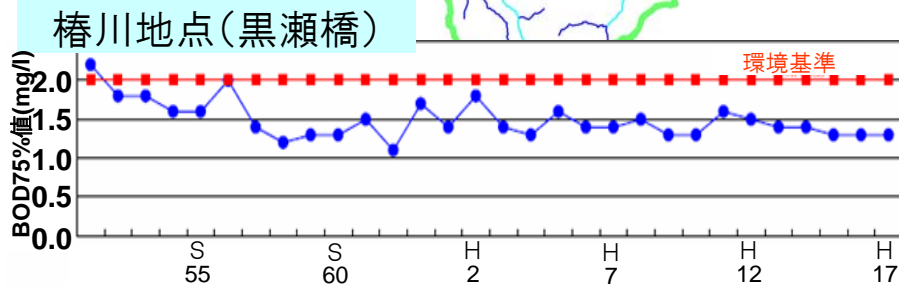
玉川中和処理施設の運用は、利水、河川環境にとって大きな役割を果たす

利水面→仙北平野の農業用水としての利用  
環境面→玉川ダム下流、田沢湖で魚類の増加

- 従前より、酸性水対策を行ってきたが、効果少。
- 玉川ダム建設事業の一環として平成元年から酸性水中和処理施設が稼働。
- 田沢湖においては、中和処理水の導水により、湖水に生息する生物の種類・数が徐々に増加。



▲玉川温泉の大噴(おおぶけ)



PH測定箇所: 大噴(玉川温泉源泉)及び玉川田沢測水所(玉川田沢湖導水付近)

●治水に関する事項

目標とする治水安全度

治水対策の基本的内容

●流水の正常な機能の維持に関する事項

## 目標とする治水安全度

河川整備基本方針では、水系の重要性、流域の資産等を考慮し、雄物川で目標とする治水安全度は、従来の工事実施基本計画と同様の1/150とした。



<基本高水のピーク流量>

椿川基準地点 9,800 m<sup>3</sup> /s

※S44.7洪水型、椿川基準地点上流で258.7mm/2日の雨が降った場合

## 現況河道の評価

大正6年以來、築堤、河道掘削、ダム建設等の事業を進めてきたが、まだまだ安全度は低い



<基準地点における現況流下能力>

椿川基準地点 約5,000 m<sup>3</sup> /s

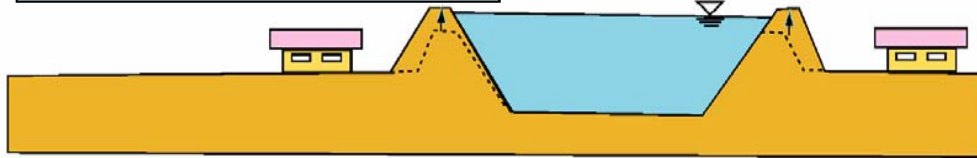


**河道整備、洪水調節施設等の治水対策の計画的推進が必要**

## 治水対策の基本的内容

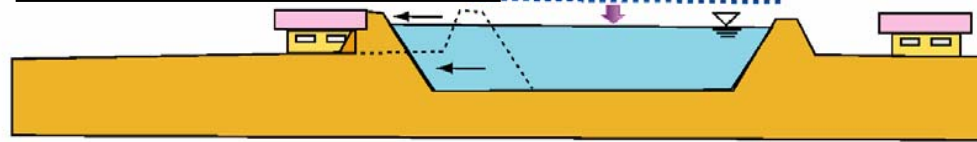
これまでの整備状況を踏まえつつ、複数の対策について、社会・環境・経済面から総合的に評価し、河川整備基本方針における治水対策の基本内容を決定

「堤防嵩上げ」による対応



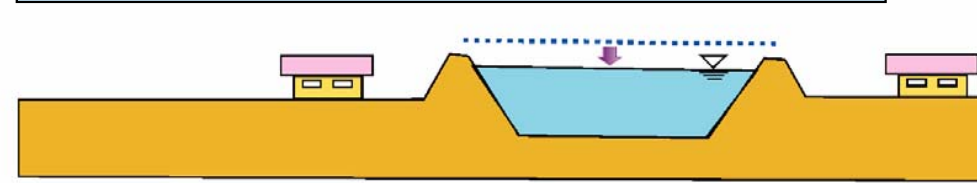
破堤時の被害が拡大する。また、橋梁等の改築が必要だけでなく、堤内側の土地買収に多額の費用を要する。

「引堤」による水位の低下



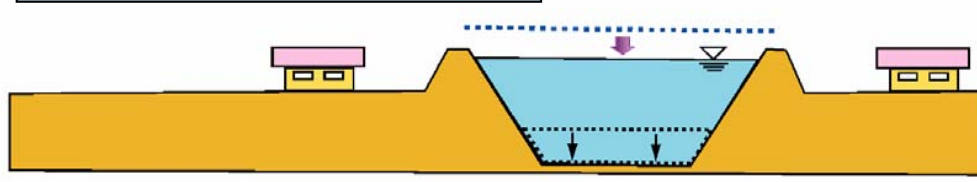
整備済み堤防の撤去と再整備、堤内側の土地買収に多額の費用を要し、現在の土地利用に与える影響が大きい。

「ダム・遊水地の洪水調節効果」による水位の低下



ダムや遊水地により水位低下を図る。ただし、ダム・遊水地の適地に限界がある。

「河道掘削」による水位の低下



掘削により水位低下を図る。ただし、橋梁等の改築、動植物に対する影響等の問題から掘削には限界がある。

複数の対策について社会・環境・経済面から総合的に評価し、「基準地点椿川の基本高水のピーク流量9,800m<sup>3</sup>/sのうち、流域内の洪水調節施設により1,100m<sup>3</sup>/sを調節して河道への配分流量を8,700m<sup>3</sup>/sとする。」ことを、河川整備基本方針における治水対策の基本内容とした。

樺川基準地点：基本高水のピーク流量 (9,800m <sup>3</sup> /s)		
現況河道流下流量 5,000m <sup>3</sup> /s	追加掘削可能量 3,700m <sup>3</sup> /s	既設ダムを含む洪水調節 施設により1,100m <sup>3</sup> /s調節

【計画高水流量 (8,700m<sup>3</sup>/s)】

河道や沿川等の状況を踏まえ、地域特性にあった治水対策を講じ、水系全体としてバランスよく治水安全度を向上

### 堤防の新設、拡築及び河道掘削

河道掘削イメージ図

堤防防護に必要な高水敷幅を確保

河道掘削

平水位

※平水位：平常時の水位

河道掘削にあたっては、動植物の生息状況等に配慮し、平水位以下の河道形状を維持するよう実施

### 中流部の無堤地区対策

強首輪中堤

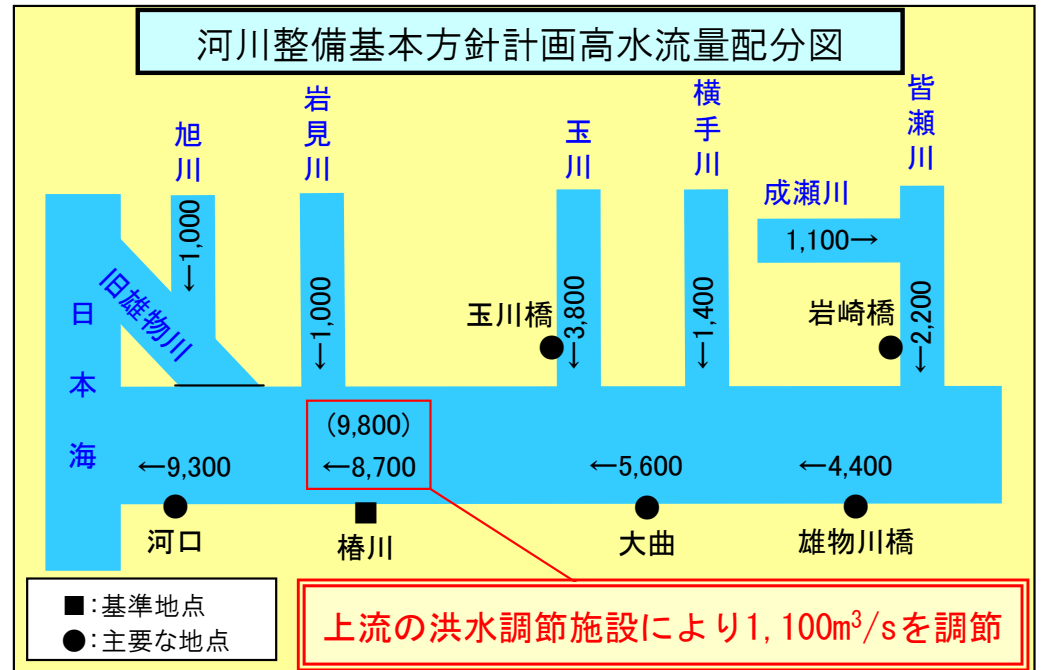
S62.8洪水による浸水状況

強首輪中堤(H14完成)

宅地の嵩上げイメージ図

宅地の嵩上げ

※計画高水位：河川整備の基本となる降雨により洪水が発生したときに想定される水位



### 洪水調節施設

河道の対応で不足する流量1,100m<sup>3</sup>/sについては、既設ダム（玉川ダム、鑑畑ダム、皆瀬ダム）の他、事業中の成瀬ダム等の洪水調節施設で対応

鑑畑ダム(昭和32年完成)

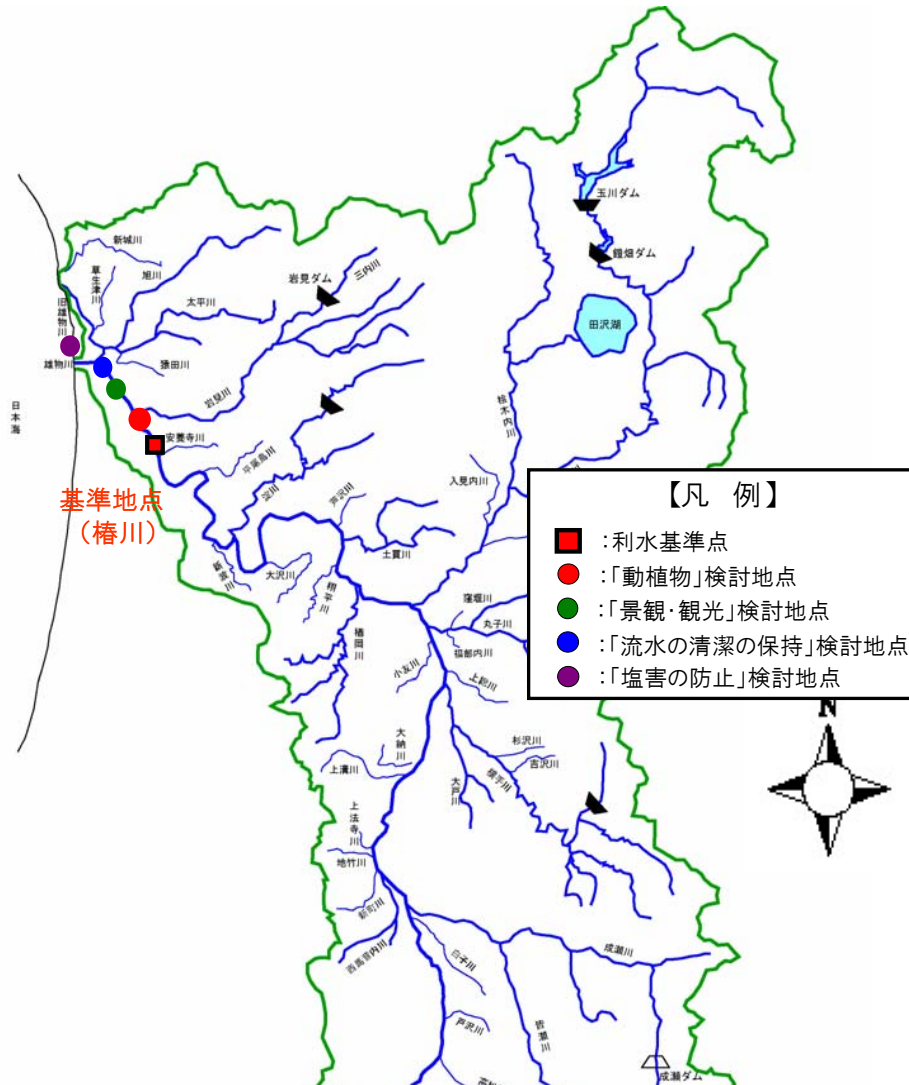
皆瀬ダム(昭和38年完成)

玉川ダム(平成2年完成)

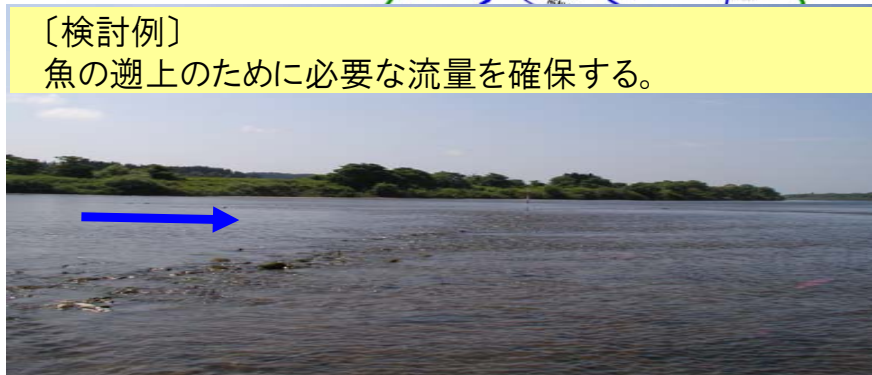
成瀬ダム(事業中)

完成イメージ





検討項目	維持すべき内容	流水の正常な機能を維持するために必要な流量		
		10～4月 (非かんがい期)	5月 (代かき期)	6～9月 (普通期)
項目別維持流量	動植物の生息地又は生育地の状況	78.4	78.4	78.4
	景観・観光	48.4	48.4	48.4
	流水の清潔の保持	19.5	19.5	19.5
	舟運	—	—	—
	漁業	78.4	78.4	78.4
	塩害の防止	60.0	60.0	60.0
	河口閉塞の防止	—	—	—
	河川管理施設の保護	—	—	—
	地下水位の維持	—	—	—



項目別維持流量と、かんがい用水や工業用水等の水利流量を勘案し、雄物川における「流水の正常な機能を維持するために必要な流量(正常流量)」は、**樺川地点において年間を通して概ね80m<sup>3</sup>/sとする。**

